

集え！ 熱き蔵王の丘に！ Heart to Heart!

Fukuyama City Hospital Spirit

医心伝心

臨床研修案内 2026



福山市民病院
FUKUYAMA CITY HOSPITAL

福山市民病院
理念

質の高い安全な医療を通じて
「安心と生きる力とやすらぎ」を
地域に提供するとともに
こころ豊かな医療人を育成する



2026年度 初期臨床研修医 1年目(上)、2年目(下)



太田塾・青島塾参加者



症例発表会

(患者本位)

1 患者の権利を尊重し、十分な説明と納得・同意のうえ、根拠に基づいた安全で質の高い医療を提供します

(人材育成)

2 地域の基幹病院として、新しい医療技術や知識を常に習得するとともに、専門職としての使命・責務を自覚した、こころ豊かな医療人の育成に努めます

(地域連携)

3 地域医療機関と連携し、高度で先進的な医療を行い、急性期医療の充実に貢献します

(療養環境整備)

4 安全で快適な、温もりのある療養環境の整備に努めます

(健全経営)

5 チーム医療の推進を図り、医療人の健康の確保とハラスメントのない職場環境の整備に努めるとともに、効率的な経営管理を行い、自立した健全経営を目指します

病院事業管理者ごあいさつ

出合いが未来を拓く

福山市民病院事業管理者 高倉 範尚 Norihisa Takakura



私は研修医の時代に生涯の恩師となる指導医にめぐり逢い、「医の心」や「医への姿勢」を学びました。すなわち、「人を想う心」や「医療への妥協しない姿勢」です。もちろん、知識や技術の修得も大切ですが、行う医療が人への優しさに欠け、妥協の医療に終わるのであれば、たとえ技術的には優れていても正しい医療とは言えないと思っています。私はこの教えを胸に刻んで診療を

続け、指導してきた多くの研修医にその「心」を伝えてきました。

当院には「医の心」や「正しい医療を真摯に追求する」、熱意にあふれた指導医が多く在籍しており、未来を拓く素晴らしい研修生活を約束します。

ぜひ、当院の門を叩き、生涯の恩師にめぐり逢ってください。

Fukuyama City Hospital Spirit!

院長ごあいさつ

病院全体で育てる臨床研修

院長 植木 亨 Toru Ueki



この春より病院長を拝命いたしました。昨年度までの12年間は臨床研修プログラム責任者として、研修医や指導医の声を反映しながら、研修体制・環境の改善に取り組んでまいりました。その結果、当初6名であった定員は12名へと拡充し、昨年は女性5名と過去最多を迎えるなど、着実に発展を遂げています。当

院は一貫して「教育・研修は人のため成らず」をモットーに掲げ、人材育成こそが地域医療の未来を支えると信じています。今後も病院一丸となってさらに教育体制を進化させていきます。ぜひ当院で、自分の可能性を大きく広げ、成長できる研修生活を送ってください。

福山市民病院は 以下の3つを大きな柱とし、 地域の中核病院としての役割を担っています。

救急医療

救命救急センターを併設し、福山・府中二次保健医療圏の三次救急医療体制の中心的な役割を担っています。また、岡山県西部地域からも重症外傷での搬送を多く受け入れています。重症外傷では放射線科医によるTAE（経皮的血管塞栓術）、整形外科・形成外科・脳神経外科による緊急手術、心筋梗塞・脳梗塞等では循環器内科・心臓血管外科・脳神経外科など、他科の専門医との円滑な連携により、救急患者に対応しています。また、2018年12月よりドクターカーの運行を開始し、救急医療を地域に届けています。



がん医療

2006年より国指定の地域がん診療連携拠点病院に指定されており、2020年度からは地域がん診療連携拠点病院（高度型）の指定を受けました（2023年4月から高度型は制度上廃止）。2025年のがんに対する手術は年間約2,500件、外来化学療法件数は約8,500件でした。また、2019年に、これまでの「緩和ケアチーム」「緩和ケア病棟」「緩和ケア外来」等を統合し、診断時から迅速かつ適切な緩和ケアを切れ目なく提供するため、「緩和ケアセンター」を開設しました。



高度専門医療

地域医療を牽引する中核病院として、近隣では難しい症例や高難度手術にも対応すべく、各診療科とも最新の医療に取り組んでいます。低侵襲で安全性の高い腹腔鏡手術、小腸・カプセル内視鏡や肝臓超音波内視鏡、PET-CTなどをはじめ、2014年12月に手術支援ロボット「ダビンチSiサーギカルシステム」を導入し、2023年8月からは「ダビンチXiサーギカルシステム」2台が稼働しています。2015年11月から放射線治療装置「True Beam STx」が稼働しており、医療機器も充実しています。また、2016年4月から継続して大学病院本院に準じる機能を有する病院として、『DPC 特定病院群』に指定されています。「がん医療」・「救急医療」を可能とする「高度専門医療」の充実強化により、地域住民の皆さまにより安全で安心な医療を提供していきます。



福山市民病院の研修、アツく進化中!

臨床研修プログラム責任者、外科、
教育研究推進室副室長

日置 勝義
Masayoshi Hioki

内科、教育研究推進室副室長

太田 茂
Shigeru Ota

はじめに

福山市民病院は、救命救急センターを併設し、広島県東部から岡山県西部(井原・笠岡)を医療圏とする、地域の中核的な急性期病院です。当院は「救急医療」「がん医療」「高度専門医療」を三本柱とし、大学病院のない当地において、その役割を担う存在です。

福山市唯一の500床規模の総合病院として、人口約45万人の地域を支えるべく、日々多くの症例に対応しています。豊富な症例は、**すべての経験を学び**に変えられる初期研修にとって、大きな魅力です。病院全体で研修医をサポートし、実りある研修を提供します。

特に近年の注目すべき点は、教育を専門とする総合内科医が、研修教育システムの改善に本格的に取り組み始めたことです。当院の臨床研修は、今まさに「アツく進化中」です。

ポイント① 救急医療

まず、初期研修に欠かせない医療の原点である救急医療は、病院一丸となって対応しています。2025年度の救急自動車搬送受入人数は4,221人であり、豊富な症例に接することができます。また、当院は小児救急医療拠点病院でもあり、小児救急車の応需率はほぼ100%。若いうちに救急や集中治療をしっかり学んでほしいとの思いから、救急科・麻酔科のローテーションは、1年目に3か月、2年目に2か月と十分な期間を確保しています。

当院は、中国地方でも数少ない三次救急(外傷を含む)に対応できる救命救急センターを有しており、「消え入りそうな命を全力で救う」「本物の」救急を経験することが可能です。

救急科以外の当直研修では、内科の一次および二次救急が中心となり、救急科・外科系・循環器など各診療科と連携して対応します。さらに、研修最初の4月から1~2か月間は1年目・2年目の二人体制で日当直に入っており、先輩研修医から丁寧な指導を受けながら無理なくスタートできる体制が整っています。

ポイント② がん医療

医療人が避けて通れない「死」というもののなかで、日本人の死因の第一位は「がん」であり、2人に1人が「がん」を患う時代です。

当院は広島県東部で最初に指定された「地域がん診療連携拠点病院」で、手術症例も豊富です。病理診断医が2名常勤し、精神腫瘍科や緩和ケア病棟も有しており、多面的ながん医療を展開しています。

「がん」を患うということは患者さんにとって人生最大の転機となる出来事です。最先端の画像診断、内視鏡診断・治療、腹腔鏡・ロボット手術、化学療法・放射線治療を駆使し「がん」に立ち向かう高度な医療を学ぶとともに、「がん」を通じて患者さんや家族の人生に寄り添う貴重な経験から、医療のさまざまな側面を学んでください。

ポイント③ 高度専門医療

全国的にもランキング上位手術数を誇る胃外科、大腸外科、肝胆膵外科や乳腺外科のみならず、外傷整形、心臓カテーテル治療、胆膵内視鏡など幅広い高度専門医療を提供しています。

手術支援ロボット(ダヴィンチ)は泌尿器科での導入に始まり、消化器外科・呼吸器外科でも使用され、現在は2台体制で稼働しています。また2024年度より待望のpre-NICUが稼働を開始し、2026年8月には周産期母子医療センターとして本稼働します。

当院の高度な専門診療を経験した後の後期研修の進路は、内科、外科、循環器、救急、整形、麻酔、泌尿器、小児および精神科など多岐にわたります。さまざまな専門分野の熱意ある指導医とともに、高度な診療に触れながら、自らの進路を見定めてください。

ポイント④ 領域横断的学習

当院は各科のローテーション研修を中心としつつ、領域横断的な学びにも力を入れています。初期研修医のうちは、特定の専門に偏らず、幅広い視点から学ぶことが重要です。そのためには、研修医同士の知識のシェアや振り返りの時間が欠かせません。2024年度からは、太田医師が常勤となり、1対1のティーチングに加え、研修システム全体の改善にも力を入れています。

毎月末の平日を「研修日」とし、研修医を半日duty free(病棟業務から解放)としています。この日は、ローテ中の経験や学びを振り返る時間として活用しており、申し送り、課題の共有、研修全体の改善に向けた話し合いなども行います。

さらに、当院29科・約40の専門領域にわたる指導医や、薬剤科・検査科などのスタッフによる分野横断的なレクチャーを実施し、どの診療科に進んでも役立つ知識を共有しています。

また、毎月開催される「感染症レクチャー『青島塾』」では、海老名総合病院の感染症科・青島朋裕先生をお招きし、系統的に感染症診療を学びます。加えて、岡山大学で臨床推論の講義を担当し、福山市内でも研修医教育に関わる総合内科・太田医師による「『太田塾』(臨床推論とケースカンファレンス)」も同時開催しており、研修医から高い評価を得ています。

初期臨床研修は医師人生の土台づくりです。ぜひこの時期に、生涯学習の習慣を身につけてください。

おわりに

当院の研修の大きな特徴のひとつは、研修プログラムや環境整備に、先輩研修医の声が確実に反映されていることです。

研修開始から3か月後には個人面談を行い、また年2回の全科合同の研修委員会では、研修の課題や改善点について、研修医と指導医が一緒になって話し合っています。こうした対話の積み重ねが、柔軟かつ実効性のある研修体制の構築につながっています。

さらに、2024年度より本格稼働した教育をライフワークとする総合内科医の存在により、臨床研修全体の質の向上が期待されています。

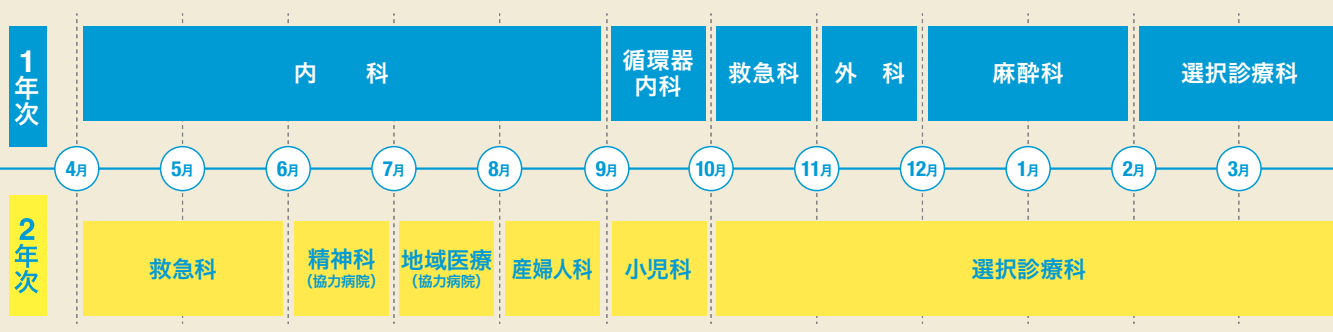
熱意ある指導医や先輩たちとともに、ぜひ当院の研修プログラムをさらに進化させてください。私たちは、皆さんが充実した研修生活を送れるよう、病院全体で全力でサポートしていきます。まずは病院見学にCome on!!

研修理念

将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるようにプライマリー・ケアの基本的な診療能力(態度、技能(アート)、知識(サイエンス))を身に付けるとともに、医師としての人格を涵養することを目的とする。

初期臨床研修スケジュール

※掲載内容は、2025年度のもです。募集要項などの最新情報はホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



Message メッセージ

充実した指導体制で臨床から学術活動まで多彩な経験ができます！

循環器内科／専攻医

□出身校／川崎医科大学

清水 沙紀 Saki Shimizu



内科専攻医1年目の清水沙紀と申します。私は当院で2年間の初期臨床研修を終え、この春から循環器内科医として勤務を始めています。初期研修の同期もその多くが専攻医として当院に残っており、科を越えて互いに切磋琢磨できる環境に身を置いています。学生時代の私は、将来の志望科がまだ明確に定まっていなかったため、市中病院の中でも診療科が幅広く、基盤となる力をしっかり養える当院を選びました。実際に2年間で過ごして感じた、当院の特長をご紹介します。

第一に、「三次救急施設としての対応力と症例の多様性」です。当院には交通外傷や心肺停止といった重篤な救急患者に加え、地域の医療機関では対応が困難な症例や、診断に苦慮する症例が多く運ばれてきます。これらに対して、研修医が指導医のバックアップのもとで積極的に実践させてもらえる環境があり、専門性に偏らない全身管理の視点を養うことができました。

第二に、「全方位をカバーする診療体制」です。地域がん診療連携拠点病院として高度な専門医療を提供しているだけでなく、基本的にない科はありません。現在、私は循環器内科に専念していますが、多くの合併症を持つ複雑な病態の患者さんに対して他科のエキスパートに即座にコンサルトできる風通しの良さは、当院ならではの強みだと感じています。

最後に、「自立を支える教育環境」です。手技の機会が豊富でありながら、困った時には相談できる層の厚さがあり、着実にステップアップできます。毎月、感染症と総合診療のレクチャーもあり、志望科によらず翌日から実践できる内容が多く非常に勉強になります。

「臨床の現場で着実に力をつけたい」「幅広い症例を経験したい」という皆さん。ぜひ一度見学に来て、当院の研修環境を確かめてみてください。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

初期臨床研修時選択科目

1年次												2年次											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
臨床検査科	内科(血液)	内科(消化管)	内科(腎臓)	麻酔科	循環器内科	泌尿器科	内科(肝臓)	救急科	内科(呼吸器)	外科	小児科	循環器内科	救急科	精神科(こころ)	膠原病・神経	内科(腎臓)	地域医療(福山南)	産婦人科	皮膚科	循環器内科			

必修科

1年次

内科(5か月)、循環器内科(1か月)、救急科(1か月)、外科(1か月)、麻酔科(2か月)

2年次

救急科(2か月)、精神科(1か月)、地域医療(1か月)、産婦人科(1か月)、小児・新生児科(1か月)

選択科

8か月(全診療科より自由に選択可能・1か月単位)

内科、精神科・精神腫瘍科、脳神経内科、循環器内科、小児・新生児科、外科、呼吸器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、乳腺甲状腺外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線診断・IVR科(2か月単位)、放射線治療科、臨床検査科、病理診断科、緩和ケア科、腫瘍内科、救急科、がんペインクリニック、歯科口腔外科

【協力病院】 地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター(協力型臨床研修病院)、医療法人大林会 福山こころの病院(協力型臨床研修病院)、医療法人社団緑誠会 光の丘病院(臨床研修協力施設)、笠岡市立市民病院(協力型臨床研修病院)、神石高原町立病院(臨床研修協力施設)、医療法人紫苑会 福山南病院(臨床研修協力施設)、福山市保健所(臨床研修協力施設)

Message メッセージ

外科専門医の資格取得に 非常に適した施設です！

呼吸器外科／専攻医

□出身校／岡山大学

野々垣 賢人 Kento Nonogaki



外科専攻医1年目の野々垣賢人と申します。私は昨年度まで当院にて初期臨床研修をおこない、引き続き専攻医としての研修をスタートしました。外科を目指すうえで福山市民病院の魅力について書こうと思います。

当院は福山・尾道医療圏の3次救急病院として、救急医療・がん医療・高度専門医療の3つを柱としています。外科に関しては消化器外科のみならず呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、乳腺内分泌外科などがそろっており、各々の科で専門的な手術が行われています。また、3次救急を担うという特性上、重症な緊急手術症例や外傷の症例なども数多く手術されています。上記のような外科系診療科を志すうえで外科専門医の資格取得は必須ですが、症例数は当院の研修で十分に条件を満たすことができます。手術内容としても最先端のロボット手術から、一般的な虫垂炎、胆嚢炎、ヘルニアの手術など

幅広い手術が行われており、さまざまな手術の経験を積むことができます。common diseaseの執刀をさせてもらえることも多々ありますし、ロボット手術の講習を受けさせてもらうこともできます。私自身も研修医1年次にロボット手術の助手資格を取らせていただきました。各科の先生方からも熱心に指導していただけるので、かなりスキルアップを目指しやすい環境だと思います。学術面でも、学会参加に積極的な先生方も多く、多くの学会発表の機会を貰える環境だと思います。全国学会での発表など、臨床能力以外の面でも多くの経験を積むことができます。

総じて、外科系志望の学生の皆さんに自信を持ってお勧めできる病院だと思います。特に、初期研修からそのまま後期研修で残っての研修が、知り合いも多く働きやすいためお勧めです。ぜひ病院見学など、気軽に来てみてください。

初期臨床研修時選択科目

1年次												2年次											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科 (血液)	外科	整形外科	内科 (呼吸器)	呼吸器 外科	内科 (肝臓)	麻酔科		循環器 内科	内科 (消化管)	内科 (腎臓)	救急科	泌尿器 科	小児科	産婦人 科	内科 (呼吸器)	精神科 (岡山)	乳腺 甲状腺 外科	救急科		心臓 血管 外科	地域 医療 (神石)	脳神経 外科	外科

先輩研修医からのメッセージ



初期臨床研修医 2 年目

渡邊 慎也 Shinya Watanabe

□出身大学／岡山大学

初期研修医の渡邊慎也と申します。当院での初期研修、特に内科研修についてご紹介します。当院では、初期研修1年目に内科を6か月間ローテーションします。循環器内科の1か月は必修となっており、残りの5か月は消化器、肝臓、胆膵、腎臓、呼吸器、神経、血液、膠原病の各分野から選択することができます。多くの専門科が揃っているため、幅広い症例を経験できることが大きな特徴です。各科ともに上級医の先生方の丁寧なご指導のもと、実践的な手技や診療能力を身につけることができます。日常業務としては、各種検査や処方のおオーダー、カルテ記載をはじめ、入院から退院までの一連の診療に主体的に関わることができ、臨床医としての基礎をしっかりと学ぶことができます。

また、内科研修中は当番制で日中の内科救急対応にも携わります。救急患者さんの初期対応を行い、上級医と相談しながら診断・検査・治療方針の決定を進めていくことで、さまざまな救急疾患に対する実践的な対応力を養うことができます。

当院の内科研修は、病棟管理から救急対応まで幅広い経験を積むことができる環境が整っており、将来どの診療科に進む場合でも役立つ内科的な知識とスキルを習得できていると感じています。ぜひ一度見学にお越しただいて、当院の雰囲気や研修医の実際の働き方を体感してください。お待ちしております。



初期臨床研修医 2 年目

河井 沙奈 Sana Kawai

□出身大学／香川大学

初期研修医の河井沙奈と申します。当院での救急科研修についてご紹介します。当院での救急科研修は研修医1年目に1か月、2年目に2か月の合計3か月になります。

研修中は指導医からマンツーマン指導を受けることができます。そのため、研修医が何ができていて、何ができないかをしっかり把握し、その都度適切な指導・フィードバックをしていただけます。救急科では全身状態の悪い患者さんが運ばれてくることが多いため、行うべき初療・手技・集中管理も多種多様です。指導医の先生方はそれらを熱心に指導して、研修医に可能な限りトライさせてくださいます。また、救急的な手技や全身管理についてのレクチャーの時間も確保されています。臨床だけでなく抄読会発表もあり、論文等の学術的な勉強をする時間もあり、本当に充実した救急研修を受けることができます。

当院救急科は広島県東部で唯一の救急救命センターを併設しており、ドクターカーの運行もしています。そのため、重症外傷をはじめ、さまざまな症例を経験することができます。

当院での初期研修に少しでも興味のある方、救急科に興味のある方はぜひ一度見学にお越しください。研修医が何でもお答えします！



初期臨床研修医 2 年目

岡 航大 Kodai Oka

□出身大学／岡山大学

初期研修医の岡航大と申します。当院の外科研修についてご紹介いたします。当院では消化器外科を1か月間必修としており、鼠径ヘルニアや急性胆嚢炎などの良性疾患から悪性腫瘍まで幅広く経験できます。がん医療・高度専門医療を柱とする当院の診療を通して、体系的に学びながら実践力を身につけることが可能です。特に、悪性腫瘍に対する高難度手術は年間を通して多数行われており、貴重な症例を経験できます。また、救命救急センターを有する三次救急病院であるため、緊急性の高い腹部疾患に対する手術にも携わることができます。

研修中は指導医とともに診療にあたり、日々の回診、手術への参加、病棟業務などを担当します。手術では指導医の監督のもと、開腹操作や腹腔内手技、閉創時の縫合などを経験でき、状況に応じて執刀の機会をいただくこともあります。さらにカンファレンスを通じて、プレゼンテーションの作成や発表方法についても学ぶことができます。

指導医やスタッフの皆さまは非常に熱心に教えてくださり、日々の診療を通して自身の臨床力の向上を実感できる環境です。ぜひ一度、当院の病院見学にお越しただき、その雰囲気を体感していただければ幸いです。

☑ 内科研修中の研修医の1日

8:30	9:00	12:00	13:00	16:00	17:00
担当患者さんの回診やカルテ記載、また、指導医の先生と担当患者さんについてのディスカッション等を行います。 曜日によってはカンファレンスや症例検討会に参加します。	診療科にもよりますが、内視鏡やIVR等の検査や処置、外来の見学・介助等を行います。	屋食。院内のコンビニやカフェで買うこともできます。	急患当番の日、救急外来に患者さんが来た際ファーストタッチを行います。 不明な点があれば上級医の先生に相談できるので安心です。	曜日によってはカンファレンスに参加します。他科・他職種と合同のものもあります。	回診やカルテ記載等業務が終われば帰宅します。

初期臨床研修1年目選択科目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
循環器内科	内科(血液)	内科(腎臓)	臨床検査科	(消化管) 内科	外科	内科(肝臓)	(呼吸器) 内科	内科(胆膵)	救急科		麻酔科



☑ 救急科研修中の研修医の1日(日直時)

8:30	9:00	12:00	13:00	17:00
担当患者さんのカルテチェックと回診を行い、最新の状態を把握し、指導医と相談します。	朝カンファレンスの時間です。前日当直の時間帯の申し送りを受け、今後の治療方針など全体で協議します。 自分の担当患者さんの申し送りは研修医が毎日行います。	救命センターや一般病棟にいる担当患者さんの回診をおこないます。 救急搬送で新規の患者さんが運ばれてきたら救急外来へ研修医も向かい、先生と一緒に初療に参加させていただきます。 ドクターカー当番の日は出勤要請が入れば指導医の先生、看護師さん、事務の方と合流し現場へ向かい処置をします。とても緊張します。	お昼休憩です。ロウン、カフェ、院内食堂がありその日の気分で選べます。 同期や先輩研修医とおはなしするお昼休憩はとても良いリフレッシュになります。	夕方カンファレンスの時間です。その日の日中におこなった処置や生理学的な変化などの情報を当直の先生に引き継ぎます。こちらも自分の担当患者さんについては研修医が行います。

初期臨床研修1年目選択科目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
麻酔科		循環器内科	膠原病・神経	内科(肝臓)	内科(腎臓)	形成外科	外科	内科(血液)	(呼吸器) 内科	救急科	整形外科



☑ 外科研修中の研修医の1日

7:30	8:00	9:00	12:00	13:00	17:00	18:00	19:00
出勤後、指導医と朝回診をして担当患者さんの状態把握や処置を行います。	術前カンファレンスに参加し症例提示をします。	研修医もチームの一員として手術に参加します。各々の到達レベルに応じて多くの手技を経験することができます。	屋食は院内のコンビニやカフェ、食堂などで行うことができます。	症例があれば午後からの手術にも参加します。	手術が終わったら指導医と夕回診をします。曜日によっては内科との合同カンファレンスに参加します。	月に一度、副院長の貞森先生に結紮の指導を直々にさせていただきます。	手術の予習や症例提示の準備が終わって帰宅します。

初期臨床研修1年目選択科目

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
内科(腎臓)	呼吸器外科	麻酔科		循環器内科	(消化管) 内科	(呼吸器) 内科	内科(胆膵)	救急科		外科	内科(肝臓)



教育指導体制

当院では、日常臨床で豊富な症例を経験することができます。

その経験を自身の学びにつなげるための教育指導体制が充実しているのも、当院の特徴です。

総合診療・感染症セミナー

毎月第2水曜日に総合診療・感染症セミナーを開催しています。講師に、神奈川の海老名総合病院より感染症科医の青島朋裕先生をお招きして、当院内科太田茂先生とともに、継続的にレクチャーをしていただいています。初期臨床研修医はこの時間は日常診療業務から離れて、将来の診療科に関わらず必須となる感染症や総合診療を勉強できます。お二方も当院で診療経験があり上級医からの信頼も厚く、当院の実情に合った講義をしてくださいます。

● 過去のテーマ

総合診療：輸液ははじめの一步／病棟指示：バイタル編／病棟指示：症状編+薬／もつつまらない！便秘の話／内科医からみたせん妄／生成AIと医療

感染症：スペクトラム理解のための細菌の分類／抗菌薬スペクトラム特訓／打ったほうがいいのか？～ワクチンについて～／経口抗菌薬ドリル／待つ？待てない？どこまでカバー？Let's debate! empiric therapy／培養結果の解釈とDe-escalationのポイント



研修日レクチャー

毎月最終日の午後は、研修日として各科の引き継ぎや、その科で学んだことの共有をします。また、毎回各科指導医によるレクチャーがあります。救急初期対応で必要になる知識や、手技の練習などを行っています。

● 過去のテーマ

救急外来の対応について(看護部)／処方の方(注射含めて)／間違えてオーダーしたときの対応／よくある処方ミス(薬剤科)／栄養管理について：中心、末梢、経腸栄養(栄養管理課)／放射線診断ミニレクチャー(放射線診断・IVR科)／救急外来における泌尿器疾患とその対応(泌尿器科)／周術期管理、術後管理等(外科)／脳卒中の初期対応、神経症状の見方(脳神経外科)／救外で見る眼科救急疾患の対応(眼科)／耳鼻科の救急疾患等について(耳鼻咽喉・頭頸部外科)／救急外来で確認すべき神経診察について(脳神経内科)／見逃せない女性救急疾患とその対応(産婦人科)／小児診療の救急外来での原則 研修医としてできなくてはいけないこと(小児・新生児科)／血ガスの見方(救急科)／基本的なブロープ走査(臨床検査科)／腹部救急疾患とその対応(内科)／縫合レクチャー(外科)／救急外来で行う固定法(シーネ固定など)(整形外科)／胸部Xp、CTの画像の見方(内科)



学会発表

当院は研修医による学会発表が盛んです。プレゼンテーション能力は研修医のうちに身に付けたい技術の一つです。発表に際しては、内容だけでなく、伝えたいメッセージの絞り方、聴衆に分かりやすいスライド作り、発表時の立ち居振る舞いなど、上級医による指導もしっかり行われています。



研修医勉強会

「研修医による研修医のための」をモットーに、毎週火曜日に研修医で勉強会を開催しています。救急・病棟症例の振り返り、研修医自身によるテーマに沿ったレクチャーなど充実した勉強会をしています。



院内開催の各コース



BLS／ACLS／PALS／PEARS／JMECC／がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会／せん妄対策研修会DELTAプログラム／外科主催研修医縫合コンテスト など

充実のサポート環境

より良い研修プログラムとなるよう最先端の設備、充実したアメニティ施設が研修生活をサポートします。



放射線治療装置

「True Beam STx」を導入しており、高い照射精度と腫瘍の形状に合わせてより細かく照射野を形成することによって、精密な治療が可能です。



透析室

当院の透析療法は1979年より開始、2004年の増築を経て、ベッド数が25床となりました。透析常勤医2名と非常勤医2名、看護師7名、臨床工学技士2～3名が患者さんの透析管理をしています。



320列ADCT

2019年1月より「320列ADCT Aquilion ONE」2台体制で検査を行っています。

今話題の人工知能(AI)を用いた再構成技術(AiCE)を搭載しており、低線量で高画質な画像を提供しています。



手術室

70㎡近い広い手術室が10室あります。麻酔科医は常時2名待機体制、手術部看護師は三交代制をそれぞれ行っており、24時間体制を整備しています。



手術支援ロボット

2014年に「ダヴィンチSi」、2023年に「ダヴィンチXi」を導入し、最新鋭のロボット手術を積極的に行っています。



図書室

24時間365日利用可能です。約140種類の雑誌を購読しており、オンラインジャーナルも充実しています。



医局

「医局が1つで相談しやすい」と研修医から好評です。また、図書室に隣接しており、利便性も高いです。



喫茶・コンビニエンスストア

喫茶や24時間年中無休のコンビニエンスストア、食堂が院内にあり、気軽に利用できます。



院内保育施設ひまわり

敷地内に開園しており、現在20名程度の利用があります。原則として7:30～19:00までですが、火・木曜日は24時間体制です。

■ 数字で見る福山市民病院

■ 研修医の人数

▶ 初期臨床研修医
※たすき掛け研修医を含む

24人

▶ 専攻医

29人

(2026年4月1日現在)

当院は屋根瓦方式を採用しており、専攻医が初期臨床研修医に勉強面や生活面に対し、サポートを行っています。



■ 病床数

506床

うち一般病床500床、感染症病床6床



■ 内視鏡検査件数

7,402件

胃・大腸の内視鏡検査に加え、小腸カプセル・ダブルバルーン検査も可能です。特に、胆膵内視鏡関連処置(ERCP、EUS)も数多く行っています。



■ 医師数

198人

(2026年4月1日現在)

■ 医師の平均年齢

40歳

■ 診療科

29科

■ 入院延患者数

147,743人

1日平均404.8人

■ PET-CT検査件数

1,900件

2013年5月より稼働しているPET撮影装置は、64列MSCTを併設しており、PET画像とCT画像を組み合わせることで、より正確な診断が可能となります。



■ iPad

1人1台



常勤医師・研修医の皆さまにiPadを貸与しています。電子カルテの参照ができるため、気になる患者さまの状態を院外からでも確認することができます。また、さまざまな情報収集にも活用しています。

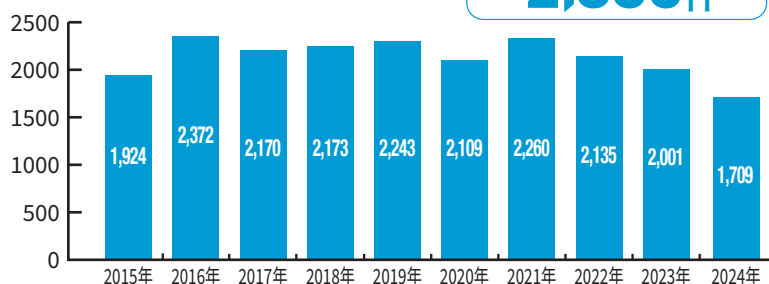
■ 外来延患者数

215,554人

1日平均894.4人

■ 院内がん登録件数年次推移(2026年5月7日時点)(診断日)

2025年がん登録件数
2,035件



■ 当直室の数

7部屋

当直時には、1人1部屋利用できます。



■ オペ室の数

10室



■ 心臓カテーテル検査件数

1,205件

急性心筋梗塞、重症不整脈、急性心不全、急性心筋炎、肺塞栓などの致死性の疾患に対しては24時間緊急治療ができる体制を取っています。



■ 救急車搬送件数

4,238件 (人数は4,247人)

救命救急センターの開設当初から、多発外傷・重症外傷等の三次救急患者を受け入れ、断らない医療の提供に努めています。また、各診療科の協力のもと、チームを組んで緊急医療に当たっています。

■ 手術件数

5,281件 (内緊急手術797件)

当院の大きな柱である「がん医療」・「救急医療」を支えているのが手術体制です。手術件数5,281件のうち、全身麻酔手術件数は3,599件でした。専任看護師の3交代勤務に加え、麻酔科専門医が常時2名待機し、24時間365日緊急手術に対応可能な体制となっており、797件もの緊急手術を行いました。

■ 高難度肝胆膵手術件数

93件

肝胆膵外科分野も当院の大きな看板の一つで、4名の肝胆膵外科高度技能専門医を有しています。

■ 外来化学療法延件数

8,509件

医師だけではなく看護師や薬剤師など「チーム医療」として患者さまをサポートしています。

■ 分娩件数

301件

周産期専門医(母体・胎児)3名を含む5名で診察しています。紹介症例が多く、半数近くが帝王切開による分娩となっています。

■ 放射線総治療患者数

588人

2015年11月よりTrueBeamSTxが稼働しました。高精度放射線治療装置を使用して、根治から緩和まで幅広い症例に治療が可能です。



■ +α地域医療について

地域医療支援病院として承認され、医療機器の共同利用、開放病床の運営や共同指導、オープンカンファレンスなど地域の医療従事者への研修を通じて、地域のかかりつけ医を支援する体制を整えています。また、神石高原町立病院への診療支援を行い、地域の医療機関との連携に取り組むなど、地域から信頼される病院を目指しています。

■ MRI年間撮影件数

7,359件

2018年1月よりMAGNETOM skyraが稼働し3T2台体制となり、より高画質な画像を提供しています。



処 遇

(2026年4月採用)

- 〔募集定員〕 12名(2027年4月採用)
- 〔給 与〕 1年次 基本手当/月…44万円、賞与/年…122万円、年収見込額…816万円
2年次 基本手当/月…45万円、賞与/年…169万円、年収見込額…839万円
※年収見込額について、時間外勤務手当は含みません
- 〔手 当〕 住居手当、通勤手当、宿日直手当(1回25,500円)、期末・勤勉手当、時間外勤務手当
- 〔勤務時間〕 8:30～17:15
- 〔休 暇〕 有給休暇(20日)、夏期休暇、年末年始休暇あり
- 〔社会保険〕 健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険、医師賠償責任保険(個人は任意)
- 〔住居手当〕 有 (アパート等の場合、上限28,000円)

設 備

- 〔図書室〕 有 『Up To Date Anywhere』施設契約
- 〔院内保育施設〕 有

時間外勤務

平均時間外勤務時間数(2025年度実績)

- 〔初期研修医1年目〕 26時間/月
- 〔初期研修医2年目〕 32時間/月

当 直

勤務時間

- 〔宿 直〕 21:30～翌朝8:30
- 〔日 直〕 8:30～17:15
当直後の勤務免除 有

当直回数(見込)

- 〔初期研修医1年目〕 4回/月
- 〔初期研修医2年目〕 4回/月

福山市による 支援金

福山市初期臨床研修支援金

- 〔支援額〕 12万5千円/年
- 〔支援対象時期〕 初期研修1・2年次
※支援額は変更される可能性があります。

／ 主なイベント ／

辞令交付式、研修会(オープンカンファレンス、がん診療連携合同カンファレンス)、ハンズオンセミナー、ドクター体験セミナー、多職種合同学術活動発表会、忘年会、研修医症例発表会、修了式 等

※イベントは2024年度のものであります。



オープンカンファレンス



研修医症例発表会



研修医修了式

福山市民病院 病院概要

病 院 の 名 称：福山市民病院 Fukuyama City Hospital

開 設 者：福山市長 枝広 直幹

病院事業管理者：高倉 範尚

院 長：植木 亨

所 在 地：〒721-8511 広島県福山市蔵王町五丁目23番1号

電 話：(084)941-5151

F A X：(084)941-5159

診 療 科 目：29科目

内科、精神科・精神腫瘍科、脳神経内科、循環器内科、
小児・新生児科、外科、呼吸器外科、整形外科、形成外科、脳神
経外科、心臓血管外科、小児外科、乳腺甲状腺外科、皮膚科、泌
尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、麻酔科、リ
ハビリテーション科、放射線診断・IVR科、放射線治療科、
臨床検査科、病理診断科、緩和ケア科、腫瘍内科、救急科、
がんペインクリニック、歯科口腔外科

病 床 数：506床（一般病床：500床 二類感染症病床：6床）

職 員 数：1,086人（2026年4月1日現在）

診療部：207人（医師198人〈初期臨床研修医24人含む〉、

視能訓練士3人、歯科衛生士4人、公認心理師2人）

医療技術部：168人、看護部：630人、事務部：81人

国・県等認定・指定施設

地域医療支援病院

地域がん診療連携拠点病院

救命救急センター

肝疾患診療連携拠点病院

災害拠点病院

臨床研修病院

緩和ケア病棟承認施設

第二種感染症指定医療機関

DPC 特定病院群

がんゲノム医療連携病院

小児救急医療拠点病院

へき地医療支援病院

主な研修医出身大学

岡山大学、愛媛大学

島根大学、鳥取大学

香川大学、近畿大学

高知大学、福岡大学

広島大学、山口大学

ばら香るレトロでモダンな街、福山。

福山市って、 こんなところ！

福山市は、広島県南東端に位置する
人口45万人の中核都市です。
温暖で過ごしやすい気候であり、
四季折々のイベントが楽しめます。
また、商業施設が発展しており、
たいへん暮らしやすい街です。
福山市の魅力を一部ご紹介します。



瀬の浦

瀬戸内海国立公園を
代表する景勝地。
ノスタルジックな港町には
見どころがたくさん！



観光

福山城

歴史とロマンの街、
福山を象徴する
名所です。



観光

ばら公園

福山市の市の花は
「ばら」。
春には競い合うように
咲き誇ります。



観光

駅前商店街

レトロでモダンな
街並みを感じられる
商店街は、散歩にも
ぴったり。



お買い物

季節を彩るイベント

① ばら祭

ばらのまち福山の
春を彩る
一大イベント。

② 福山夏まつり

福山の伝統芸能・
二上りおどり大会に、
迫力満点の
あしだ川花火大会。



福山市までのアクセス時間

※JR福山駅は新幹線「のぞみ」「さくら」がとまります。

◎広島市から

新幹線→約30分
高速バス→約1時間50分

◎岡山市から

新幹線→約17分
在来線→約1時間

◎広島空港から リムジンバス→約60分

／ 指導医、研修医ともお話できます！ ／

見学に行こう！

当院では、病院見学を随時受け付けています。
ご希望の方はホームページより
お気軽にお申し込みください。

見学希望の方は

こちらの二次元コードから
見学申込を行ってください。



お問い合わせ
病院総務課

TEL: 084-941-5151

Email: shimin-byouin@city.fukuyama.hiroshima.jp

アクセスマップ Access map



交通のアクセス

- 山陽自動車道福山東インターより車で2分
「**東城・府中**」方面へ進んでください
国道182号線に出られたらすぐ右折レーンにお入りください。
「福山市街」方面からは右折が困難です
- JR福山駅より車で15分 バスで20分
福山駅前2・8番乗場→福山市民病院下車



福山市民病院

〒721-8511 広島県福山市蔵王町5丁目23-1

Tel. (084) 941-5151 FAX. (084) 941-5159

[E-mail] shimin-byouin@city.fukuyama.hiroshima.jp

<https://www.fc-hosp.jp/>



2026年5月発行
編集:広報室